

平成18年度第1回磯子区地域福祉保健計画推進委員会議事録

開催日時	平成18年7月13日(木) 午後6時30分から午後8時30分まで
開催場所	磯子区役所 702号会議室
出席者	委員：外村委員・上杉委員・小島委員・鈴木委員・三澤委員・中里委員・櫻井委員・関野委員 石塚委員・時任委員・矢野委員・岩瀬委員・佐々委員・野田委員・三浦委員・米尾委員 傍聴：内田氏(子どもサポートセンターいそっこ) 事務局：区長・福祉保健センター長・新井担当部長・脇田課長・高橋課長・小谷課長・森田係長 繁野係長・重松係長・清水係長・山口職員・長谷川職員・小先職員 (区社協) 小島事務局長・矢崎次長・遠藤職員 (ケアプラザ) 小川所長(新杉田)・増澤職員(洋光台)・楠田職員(磯子)
欠席者	佐藤委員・福土委員・水越委員・吉田委員・大平委員・平野委員
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長あいさつ ・ 委員自己紹介 ・ 事務局メンバー紹介 ・ 磯子区地域福祉保健計画の策定経過及び推進委員会の設置について(清水係長) ・ 委員長・副委員長選出 委員長…三浦委員、副委員長…鈴木委員・佐々委員に決定 <p>1 磯子区地域福祉保健計画の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 18年度の進め方について(小先) (2) 重点推進プログラム「あなたの提案実現」について(長谷川) <p><意見・質問></p> <p>○「あなたの提案実現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会は行うのか。 →説明会は予定していない。個々に相談に応じていく。 ・ 件数の上限はあるのか。 →選定委員会で検討する。 ・ 1事業についての助成金額の上限がわかった方が申込みしやすいのではないのか。 →事業によって地域にもたらす利益の大小が異なるので上限を一律にすることについて現在のところ考えていない。ただし、10万円を1単位として事業の内容によって単位の数を考えていくのはどうかという意見も出ている。また、「助成金」なので、必要な金額の全てを助成するわけではない。 ・ 人件費の可否についてどう考えているか。 →局の考え方としては家賃、人件費は出せないことになっているので、基本的にはそれに合わせる方向で考えている。 ・ 18年度中に「あなたの提案実現」で160万円すべてを使い切る必要はないのではないのか。地区別の取り組みについてはすでに具体的になっているので、そちらに予算をまわせないのか。 →地区別の取り組みについては、別に予算を考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「要綱の制定」とあるが、日にちが限られている中で間に合うのか。 →申請の様式、審査の基準について、8月までにつくる予定。 ・ 総額で160万円ということでは、他にどれくらい申請が出てくるかわからないので申請しづらい。上限額を決めておいて、審査によって上下できるようなアバウトな部分も含めた方がよいのでは。 ・ 150万円の助成金と3万円の助成金では申請書が異なってくる。金額が大きくなるとそれなりのものをつくる必要がある。市民にとって申請書を書くのは大変なことなので、ある程度の心づもりがあった方がよいのではないか。 ・ この助成金は継続的に使える予算ではなく、事業開始にあたって必要な経費ということを念押ししておいた方がよいのでは。 →事業開始に必要な金額の一部を助成するものであることを明記するようにする。 ・ 町内会の事業についてもお金を出すだけでなく、「協働」を考えながら出していかなければならないと思う。 <p>○「地区別の取り組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算はどれくらいになるのか。 →総額で200万円を予定しており、地区の人口に応じて配分したいと考えている。また、この助成金はすでに計画に盛り込まれている取り組みについて助成するものである。 <p>第2回会議は11月初旬を予定</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」 2 福祉保健センター事業概要 3 区政運営方針・重点推進施策 4 区民生活マップ 5 コスモスページ